日本医科大学 大学院 医学研究科 2025

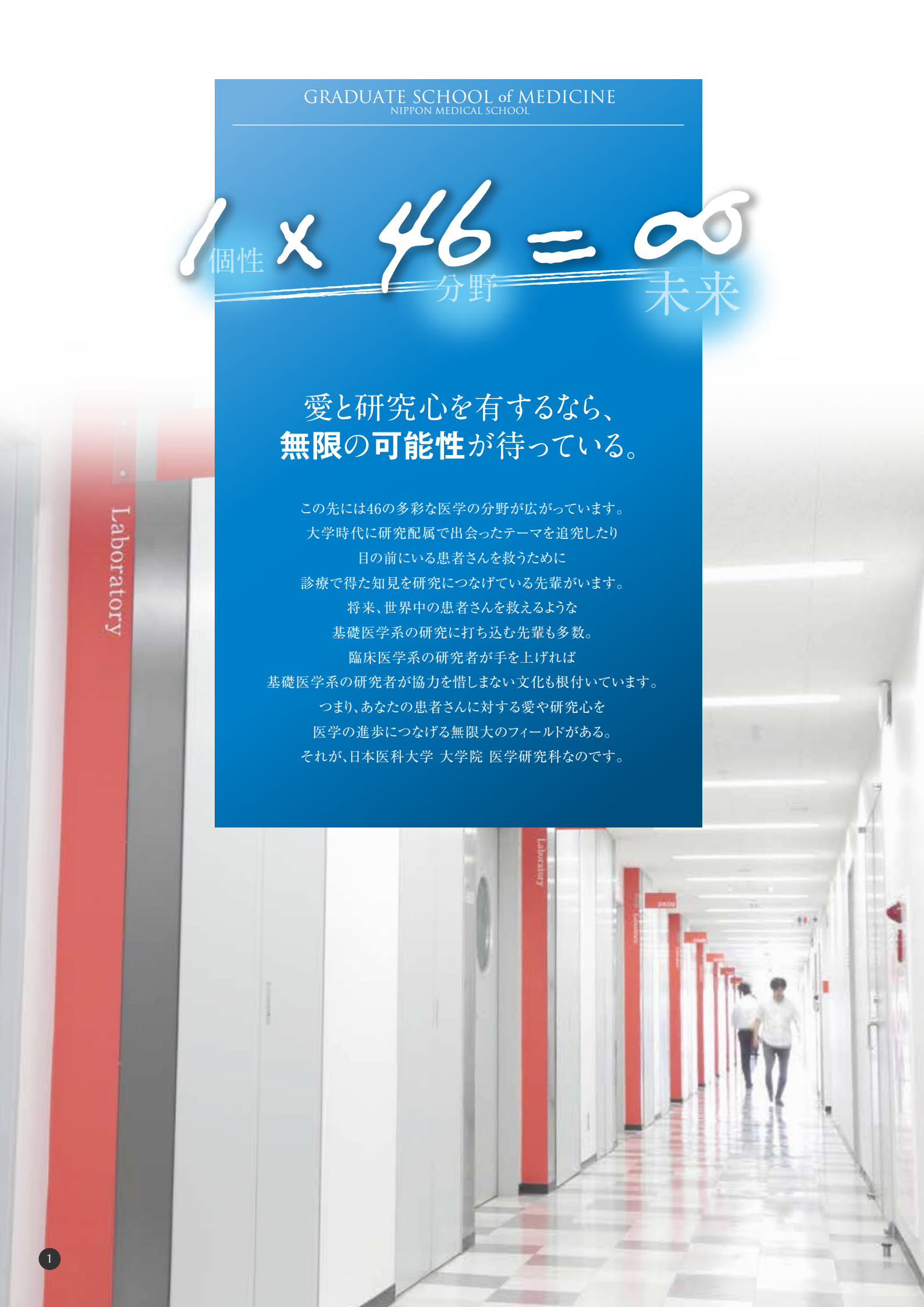
GRADUATE SCHOOL of MEDICINE, NIPPON MEDICAL SCHOOL

GRADUATE SCHOOL of MEDICINE
NIPPON MEDICAL SCHOOL

1 個性 × 46 分野 = ∞ 未来

愛と研究心を有するなら、
無限の可能性が待っている。

この先には46の多彩な医学の分野が広がっています。
大学時代に研究配属で出会ったテーマを追究したり
目の前にいる患者さんを救うために
診療で得た知見を研究につなげている先輩がいます。
将来、世界中の患者さんを救えるような
基礎医学系の研究に打ち込む先輩も多数。
臨床医学系の研究者が手を上げれば
基礎医学系の研究者が協力を惜しまない文化も根付いています。
つまり、あなたの患者さんに対する愛や研究心を
医学の進歩につなげる無限大のフィールドがある。
それが、日本医科大学 大学院 医学研究科なのです。



VOICE
OF KEY PERSON

日本医科大学 学長　弦間昭彦

研究力＋専門診療能力＋AI･データサイエンスの素養

本学の大学院医学研究科は昭和35年、西暦1960年3月に設置されました。先端的研究の推進と共に、先端的研究を担う人材の養成を進め、現在に至るまでに、3,887名の医学博士を送り出してきました。

平成を13年度には私立大学のトップを切って大学院の重点化を図り、学部課程における医師養成に留まらず、大学院における研究をより重視する大学となっています。ここで特に申し上げたいのは、日本医科大学の変革が進んでいるということです。共同研究施設の強化、新テクノロジーを用いた教育環境整備、先端医学研究所の充実などが同時に進められています。工学の進歩の中で、本学が東京理科大学、早稲田大学との連携を深めているのも、その一環であり、すでに果実が得られてきています。AI･データサイエンスコースも設置しました。また、e-*Learning*などICTを駆使したカリキュラム改革も順調に進んでいます。「社会人選抜」の制度を整え、診療に従事しつつ研究を続けることも可能になりました。本大学院が持つ人的･物的資源を最大限に活用して、存分に研究していただきたいと思います。

どうか、本大学院で、専門的な知識･技術を身に付け、豊かな人間性を培い、優れた研究能力を獲得し、将来世界に通用する一線級の研究者や臨床家として活躍していただきたいと思います。

卓越した研究力と倫理観を備えたグローバルな医師と医学者の育成

大学院医学研究科長
清家正博

日本医科大学大学院医学研究科は、「愛と研究心を有する質の高い医師と医学者の育成」という教育理念のもと、医学研究の発展、高度専門医療人の育成に貢献してまいりました。グローバル化が進む医療の最前線や多様化する社会の医療ニーズに応えるためには、豊かな人間性と充実した臨床力に加え、卓越した研究力と高い倫理観が不可欠です。本大学院では、次世代を担う世界的な視野を持つ医学者･研究者の育成を目指し、多様な働き方や価値観に対応した勤務体制、研究環境、指導体制を整えております。皆様の入学を心よりお待ち申し上げております。

日本医科大学大学院　アドミッションポリシー

本大学院は、医学に関する知識･技術･倫理を教授研究し、生命倫理を尊重しつつ国際社会において自立して能動的に研究活動を行い、また、高度に専門的な業務に従事するために必要な高い研究能力及びその基盤となる豊かな学識と問題解決能力を養うことを目的とし、本学の基本理念に基づいて、愛と研究心を有する質の高い医師、医学者を育成する。

《 求める学生像 》

1. 高度に専門的な業務に従事するに必要な高度な知識･技能の獲得を目指す人
2. 高度な研究能力の基盤となる医学に関する幅広い学識と高い倫理性を備えることを目指す人
3. 新たな分野に挑み、深い思考力と問題解決能力を持って独創的な研究を自立して展開する情熱のある人
4. 生命倫理を尊重するとともに社会的な見識を有する人
5. 研究成果を世界に向けて発信し、国際社会において協調して活躍する熱意を持つ人

ADVANTAGE

日本医科大学大学院の**魅力**

「愛と研究心を有する質の高い医師と医学者の育成」のために、社会人選抜制度、各種の経済的支援を整備。
ここで授与された博士号は、生涯の医師・医学者としての礎になります。

私立医科大学29校中授業料が最も安価な大学の一つです。

POINT:01 支援

経済的な負担を軽減。
授業料が最も安価な大学の一つ。

TA制度*、RA制度*、PD制度*が充実しています。
大学院医学研究科特別経費（学生分）の採択や大学院実験実習費の支給も行っています。また日本学生支援機構奨学金制度が利用できます。

＊詳細は6頁参照

POINT:02 育成

社会人受け入れを整備。
医療人として働きながらの履修が可能。

大学卒後2年間の臨床研修（初期）を修了した方が、引き続き専門研修（後期）で医師として働きながら学べる「社会人選抜制度」を利用できます。専門医として臨床経験を積みながら、そこで得た知見を研究につなげて博士号を取得し、さらなる研究への土台とすることができます。

POINT:03 奨励

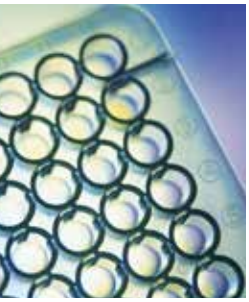
先進的な研究を評価。
学位記授与式での表彰制度。

学位を授与された者の中から、在学期間中において優秀な者については「大学院研究賞」、特に優秀な者については「大学院最優秀研究賞」を与え表彰します。

POINT:04 業績

専門性の高い、優れた研究業績。
医学・医療の発展に大きく貢献。

46分野3つの研究領域からなり、各分野を横断的に連携して研究活動を行うことができ、研究基盤形成支援事業など複数の大型公的研究費を獲得し、分野を超えて研究成果を上げてきました。将来の医学・医療を牽引していく大学院生に、実質的な教育体制を提供していきます。



日本医科大学大学院　カリキュラム・ポリシー

本学の教育理念である「愛と研究心を有する質の高い医師と医学者の育成」に基づき、医学に関する知識・技術・倫理を教授研究し、生命倫理を尊重しつつ国際社会において自立して能動的に研究活動を行い、また、高度に専門的な業務に従事するために必要な高い研究能力及びその基盤となる豊かな学識と問題解決能力を養うことを教育研究上の目的とし、以下の教育課程を編成している。

1. 共通科目を通して、高い研究能力の基盤となる医学に関する幅広い学識と高い倫理性を体系的に学修する。
   国際社会において協調して活躍するためのコミュニケーション技能も学修する。
2. 専門科目を通して、高度に専門的な業務に従事するために必要な知識と研究技能を学修する。
   主専攻科目の他に副専攻科目を学修し、幅広い専門性を修得する。
3. 研究指導を通して、自ら考え能動的に研究することによって、
   高度の専門知識と優れた研究能力及び問題解決能力を修得したことを証明するに足る論文を作成する。
4. 研究倫理教育を通して、高度に専門的な業務に従事するために必要な高い倫理観を涵養する。
5. 高度な専門性を有するがん臨床指導者を目指す学生のために、専門コースを設置し、
   体系的にがん臨床に関わる知識を修得する。

ADVANTAGE

医学専攻系**分野**

学問分野を超えて高度化・多様化する医療動向を見据えた
体系的かつ実践的な大学院教育を推進。
自由な校風の下に分野横断的に連携して研究活動を行う土壌が培われています。

機能形態解析医学

生体の持つ機能形態に焦点を当て、
その生理的役割及び病態制御機構を解明すると共にこれらの知見を基に
高度に先進的な治療法の開発に繋がる医学研究に取り組む領域です。

- ◉分子解剖学
- ◉生体統御科学
- ◉解析人体病理学
- ◉細胞生物学
- ◉分子細胞構造学
- ◉循環器内科学
- ◉血液内科学
- ◉消化器内科学
- ◉内分泌代謝・腎臓内科学
- ◉呼吸器・腫瘍内科学
- ◉臨床放射線医学
- ◉皮膚粘膜病態学
- ◉頭頸部・感覚器科学
- ◉女性生殖発達病態学
- ◉臨床検査医学

生体制御再生医学

生体が有する高度な制御機構が破たんした病態に対し、細胞再生及び再建手法を
研究することによって、その機能を再生する新規技術に繋がる研究を行う。
基礎医学的手法の開発から医用工学の応用まで幅広く医学研究に取り組む領域です。

- ◉男性生殖器・泌尿器科学
- ◉解剖学・神経生物学
- ◉感覚情報科学
- ◉生体機能制御学
- ◉遺伝子制御学
- ◉神経内科学
- ◉消化器外科学
- ◉乳腺外科学
- ◉内分泌外科学
- ◉呼吸器外科学
- ◉心臓血管外科学
- ◉脳神経外科学
- ◉整形外科学
- ◉分子遺伝医学
- ◉眼科学
- ◉救急医学
- ◉疼痛制御麻酔科学
- ◉形成再建再生医学

健康社会予防医学

人が健康で安全な生命活動を維持するために、
個体内環境および個体外環境を生物学的および社会学的に研究し、
全人的な疾患の治療および予防にグローバルに貢献する医学研究に取り組む領域です。

- ◉統御機構診断病理学
- ◉代謝・栄養学
- ◉薬理学
- ◉微生物学・免疫学
- ◉衛生学公衆衛生学
- ◉法医学
- ◉医療管理学
- ◉分子生物学
- ◉精神・行動医学
- ◉アレルギー膠原病内科学
- ◉小児・思春期医学
- ◉総合医療・健康科学
- ◉リハビリテーション学

特色ある**研究**

細胞生物学分野

大学院教授　岩井佳子

がん治療のパラダイムシフトを起こした免疫チェックポイント阻害剤、オプジーボ。その開発に携わった経験と、全国有数のがん拠点病院である日本医科大学ならではのアドバンテージをいかして、細胞生物学研究室では、さらなる診断・治療法の開発に力を入れています。

形成再建再生医学分野

大学院教授　小川　令

地球の重力などわれわれの体にかかる物理的な力をコントロールすることで傷跡を綺麗にしたり、治らない傷を治すことができます。この、メカノセラピーと呼ばれる最先端の医療技術を開発し、医学にイノベーションを起こしているのが形成再建再生医学分野です。患者さんのQOL向上に貢献を果たせる画期的なアプローチです。

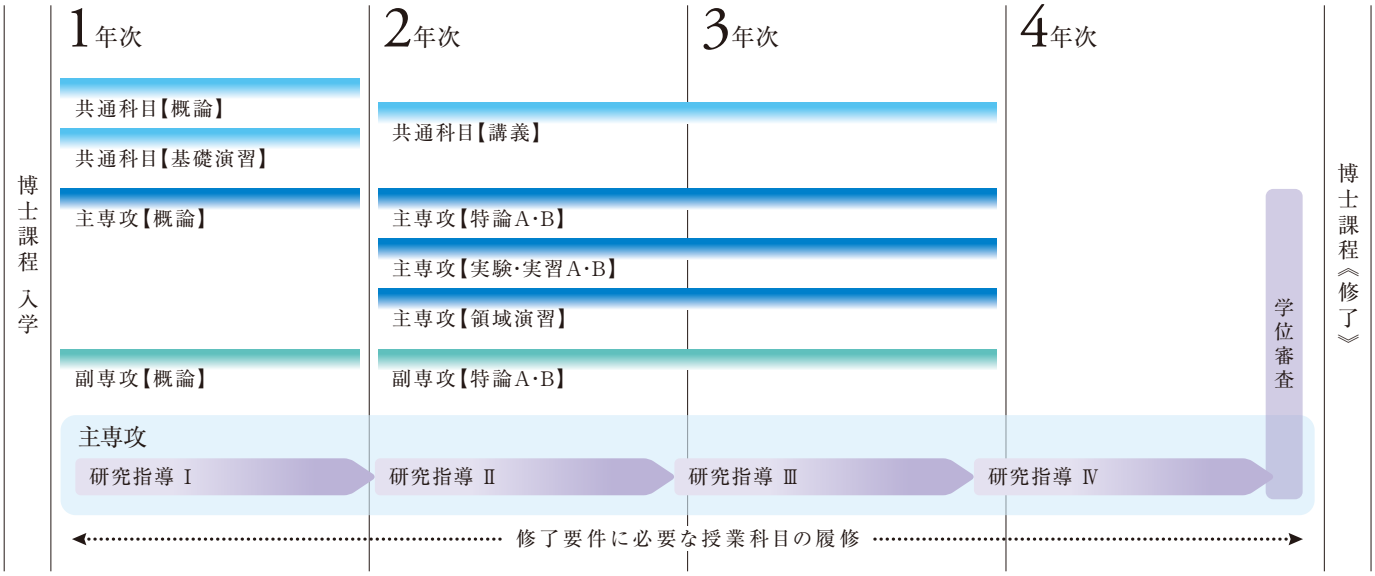
薬理学分野

大学院教授　荒川亮介

薬理学分野で特に力を入れているのは神経薬理です。細胞レベルの電気生理学的検討、モデル動物の行動や遺伝子発現の評価、さらにはPETやfMRI等の脳機能画像を用いたヒト脳内での薬理作用の可視化など、ミクロからマクロまでを網羅して探索する研究を行っています。

大学院の目的と教育内容を明確化したカリキュラム。
高度な研究遂行能力と豊かな人間性、高い倫理観を育みます。

大学院の履修フロー



研究の現場から大学院生メッセージ

基礎研究の無限の可能性、臨床へとつながる大学院での学び

Cedars-Sinai Medical Center〈令和5年度大学院修了〉 **澤田杏理**

私は腎臓内科医として勤務する中で腎臓病理の研究に興味が湧き、解析人体病理学を専攻しました。近年、医学系の研究、論文発表のハードルはどんどん上がってきています。トップジャーナルでは異なる分野の最新知見や実験手法を組み合わせることが求められ、論文の多くが複数ラボのコラボレーションを基に作成されています。幸い、日本医科大学にはそれぞれの分野で最先端の研究が行われており、研究機器も豊富に揃っています。また、大学院では実験手技の習得だけではなく、論文を読む能力を身に着けることもできます。世の中には玉石混交様々な情報が溢れています。その中で、本当に有益な知見を得る能力は、基礎研究のみならず、臨床医にも必須です。私は現在、米国ロサンゼルスにおりCedars-Sinai Hospitalへ研究留学し、腎臓に関する基礎研究を続けています。基礎研究には終わりがありませんし、その成果は常に臨床現場に繋がっています。こうしたサイエンスの進化の一部となり、その仕組みを知るためには大学院での研究経験は不可欠です。将来基礎研究を続けたいと思っている人だけでなく、臨床を目指す人にも大きな財産になると思います。

日本医科大学大学院　ディプロマ・ポリシー

本大学院は、医学研究者及び医師として医学領域の幅広い視野と豊かな人間性、高い倫理観、自ら問題解決できる研究能力を養い、社会において他と協力して、高度の専門知識と医療倫理を実践できる資質・能力を身につけた者に学位を授与する。原則として4年以上在学し、所定の単位を修得し、研究者として必要な高度の研究能力と学識を備えていることを証明するに足る論文を提出し、論文の審査及び最終試験に合格することを博士課程の修了要件とする。ただし、在学期間に関しては、優れた研究業績を上げた者については、3年以上在学すれば足りるものとする。

経済的支援の取組み

本大学院では、下記の制度を実施している。手続き等の詳細は、大学院ホームページに掲載する他、入学式後の新入生オリエンテーションの際に説明する。

TA

日本医科大学大学院 ティーチング・アシスタント制度

「TA（ティーチング・アシスタント）」とは、学部学生等に対する助言や実験、実習、演習等の教育補助業務（具体的には、演習のディスカッションリーダー、レポート・試験等の採点など）を行い、これに対する手当が支給される。

RA

日本医科大学 リサーチ・アシスタント制度

「RA（リサーチ・アシスタント）」とは、大学等が行う研究プロジェクト等の研究補助業務（具体的には、データ処理業務、各種実験の実施及び補助、研究設備の運転・整備等）を行い、これに対する手当が支給される。

PD

日本医科大学 ポスト・ドクター制度

「PD（ポスト・ドクター）」とは、博士の学位を取得した後、本学が行う学術研究プロジェクト等において一定の職務を分担して、研究に従事し、これに対する手当が支給される。

一般選抜・社会人選抜共通 募集要項

（ 令和7年度 秋学期・令和8年度 春学期 ）

◆入学選抜方法

【 学力試験 】 ①英語《TOEFL ITP®テスト》 ②面接（医学一般 口答試問含む）
上記①②及び出願書類一式を以て、総合的判断により合格者を決定する。

◆試験日程、試験科目及び時間・会場

◎令和7年度 第3回目（秋学期）
◎令和8年度 第1回目（春学期） ┐ 令和7年6月26日（木）
◎令和8年度 第2回目（春学期） ── 令和8年1月29日（木）

試験科目	時 間	試験会場
英語 《TOEFL ITP®テスト》	午前9時30分～正午	日本医科大学 （千駄木地区）
面接 （医学一般 口答試問含む）	指定日時 （試験日の一週間前に通知する）	指定場所 （千駄木地区）

※試験当日は、午前9時15分までに試験会場に入場すること
〈受験票・筆記用具（HB鉛筆、消しゴム）を持参のこと〉。

◆合格者の発表

令和7年度 第3回目（秋学期）	令和7年 9月11日（木） 午後1時	大学ホームページ （お知らせ一覧）
令和8年度 第1回目（春学期）		
令和8年度 第2回目（春学期）	令和8年 3月12日（木） 午後1時	

※合格者には合格発表日に、合格証及び入学手続書類等を「送付用住所シール」に記載された住所に普通郵便で郵送する。また、電話等による合否の問い合わせには一切応じない。

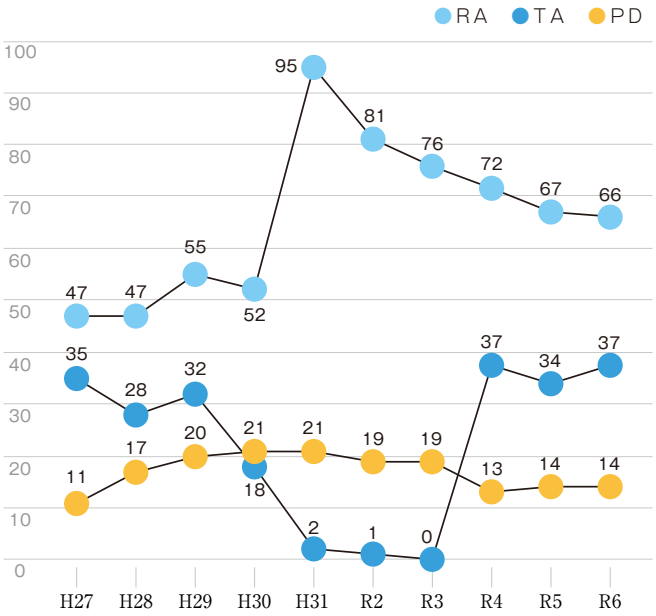
学納金

◎入学金 …… なし
◎授業料（実習費を含む） …… 250,000円（年額 註1）
◎学生教育研究災害傷害保険料
一般選抜 …… 3,370円（4年間分）
（内訳／昼間部：2,300円＋通学中等障害危険担保特約1,000円＋接触感染予防保険金支払特約70円）
社会人選抜 …… 1,470円（4年間分）
（内訳／夜間部： 400円＋通学中等障害危険担保特約1,000円＋接触感染予防保険金支払特約70円）
◎学研災付帯賠償責任保険料 …… 2,000円（4年間分）

※学納金に対する消費税は非課税

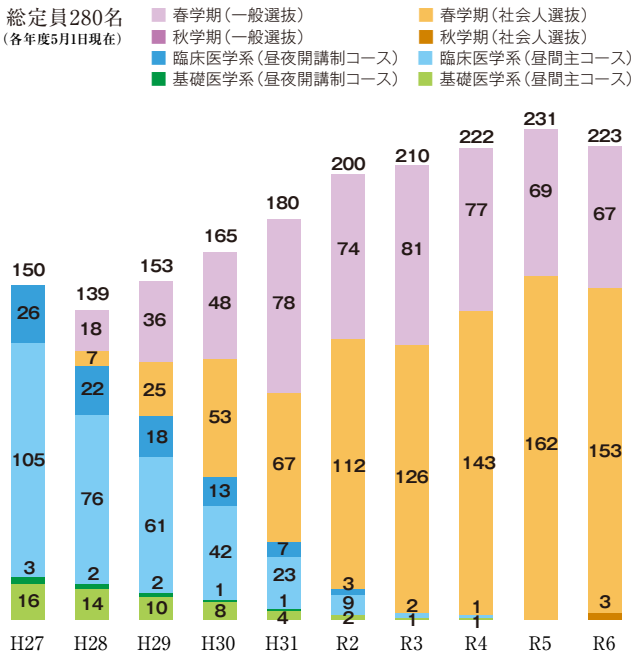
《註1》授業料（実習費を含む）は年額。ただし、学納金の金額は、本要項作成後に改定されることがあるので、入学案内に記載する金額を納付すること。

RA・TA・PDの採択状況

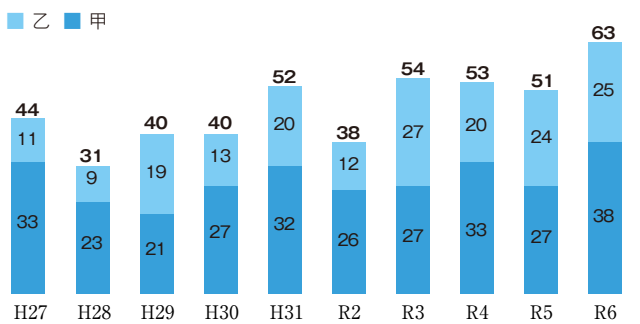


※人数には「ハイテク・リサーチ・センター整備事業」「戦略的研究基盤型支援事業」の採択者を含む

大学院在籍者数



学位授与の授与件数と推移



GRADUATE SCHOOL OF MEDICINE

NIPPON MEDICAL SCHOOL

入学試験日

	令和７年度　第3回目	令和８年度　第1回目	令和８年度　第2回目
出願資格事前審査 書類提出期限	令和７年 5月1日(木)～ 令和７年 5月12日(月)	令和７年 5月1日(木)～ 令和７年 5月12日(月)	令和７年 12月1日(月)～ 令和７年 12月8日(月)
出 願 期 間	令和７年 5月1日(木)～ 令和７年 5月16日(金)	令和７年 5月1日(木)～ 令和７年 5月16日(金)	令和７年 12月1日(月)～ 令和７年 12月12日(金)
試　験　日	令和７年 6月26日(木)	令和７年 6月26日(木)	令和８年 1月29日(木)
合格発表日	令和７年 9月11日(木) 午後1時	令和７年 9月11日(木) 午後1時	令和８年 3月12日(木) 午後1時
入学手続期間	令和７年 9月12日(金) ～ 令和７年 9月19日(金)	令和８年 3月13日(金) ～ 令和８年 3月23日(月)	

◉問い合わせ先(窓口)

日本医科大学事務局 学事部大学院課

【窓口受付時間】　9:00～12:00、13:00～17:00（土曜日･日曜日及び祝日除く）

※個人情報の保護について／出願にあたり提供された氏名･住所･その他個人情報は、入学者選抜･合格発表･入学手続など、入学までの一連の入学業務以外には一切使用しない。

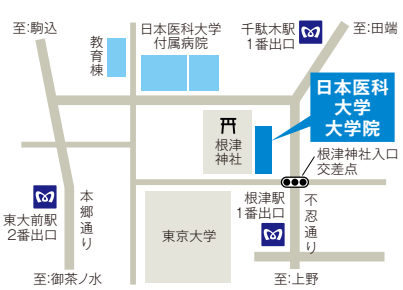
〒113-0031 東京都文京区根津1丁目25番16号
TEL：03-3822-2131(代表)
Eメール：graduate@nms.ac.jp

《 日本医科大学ホームページアドレス 》
https://www.nms.ac.jp/college/

《 日本医科大学大学院医学研究科ホームページアドレス 》
https://www.nms.ac.jp/college/gradschool.html

日本医科大学
大学院ホームページ

ACCESS



① 東京メトロ 千代田線『千駄木駅』下車　徒歩約10分
② 東京メトロ 千代田線『根 津 駅』下車　徒歩約 6分
③ 東京メトロ 南 北 線『東大前駅』下車　徒歩約10分
④ 東京メトロ 南 北 線『本駒込駅』下車　徒歩約15分
⑤ 都営地下鉄 三 田 線『白 山 駅』下車　徒歩約15分

※タクシーの場合／駒込･日暮里･上野･御徒町の各駅より約10分